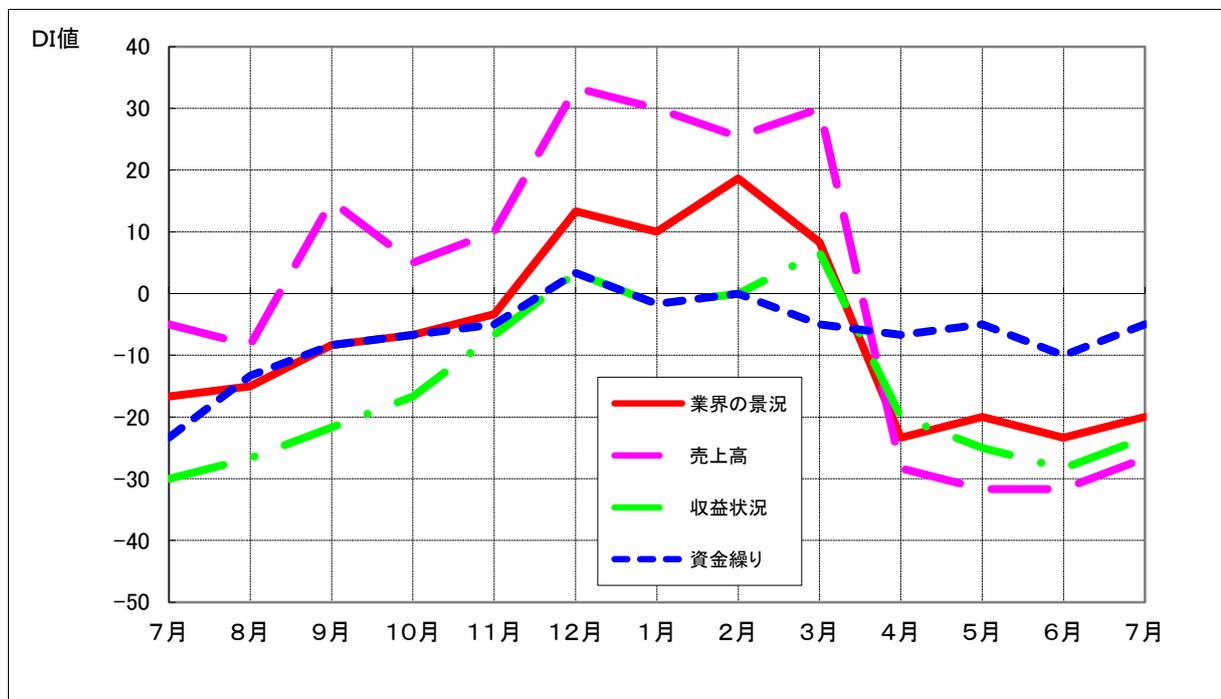


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成25年7月～平成26年7月

単位:ポイント



	H25					H26							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
業界の景況	-16.7	-15.0	-8.3	-6.7	-3.3	13.3	10.0	18.6	8.3	-23.3	-20.0	-23.3	-20.0
売上高	-5.0	-8.3	15.0	5.0	10.0	33.3	30.0	25.4	30.0	-28.3	-31.7	-31.7	-26.7
収益状況	-30.0	-26.7	-21.7	-16.7	-6.7	3.3	-1.7	0.0	6.7	-20.0	-25.0	-28.3	-23.3
資金繰り	-23.3	-13.3	-8.3	-6.7	-5.0	3.3	-1.7	0.0	-5.0	-6.7	-5.0	-10.0	-5.0

○7月のDI値は、前月と比べ、全ての項目が改善した。「業界の景況」DI値は、3.3ポイント、「売上高」、「収益状況」、「資金繰り」DI値はいずれも5ポイント改善した。前年同月と比べると、2項目で悪化し、2項目で改善した。「業界の景況」DI値は3.3ポイント、「売上高」DI値は21.7ポイント悪化し、「収益状況」DI値は6.7ポイント、「資金繰り」DI値は18.3ポイント改善した。

7月は前月比で上記項目DI値が全て改善しているが、業種毎に業況には温度差があるようだ。人員不足や消費税増税後の影響を指摘する報告があることから、今後の推移に留意する必要がある。

○組合の特記事項からは、製造業では、ハウスウェア製造業から、季節商品は好調に推移しているが、家庭用や業務用の受注は前年並みにとどまり低調との報告が、機械器具製造業からは、受注が増加傾向で来春までには順調に推移していくと思われるが、短納期の発注であるため長期的には楽観できないとの報告が出ている。非製造業では、左官工事業から、夏休み工事の急増により人員が不足しているとの報告が、貨物軽自動車運送業からは、共同受注は増加傾向、車両、人員が慢性的に不足となっているとの報告が出ている。